

E2

POWERED BY Dialog

Basic Patent (Number,Kind,Date): JP 58128311 A2 830730

PATENT FAMILY:

Japan (JP)

Patent (Number,Kind,Date): JP 58128311 A2 830730

SOLUBILIZER RESISTANT TO TEMPERATURE CHANGE AND SOLUBILIZATION (English)

Patent Assignee: POLA KASEI KOGYO KK

Author (Inventor): SHINODA KOUZOU; SHIGA TAKUO; NAGAI MASAYOSHI

Priority (Number,Kind,Date): JP 8212265 A 820128

Applic (Number,Kind,Date): JP 8212265 A 820128

IPC: * A61K-007/00; C11D-001/83

CA Abstract No: * 100(12)091139Z

Derwent WPI Acc No: * C 83-756130

JAPIO Reference No: * 070235C000138

Language of Document: Japanese

Patent (Number,Kind,Date): JP 92009767 B4 920221

Priority (Number,Kind,Date): JP 8212265 A 820128

Applic (Number,Kind,Date): JP 8212265 A 820128

IPC: * A61K-007/00; C11D-001/83

Language of Document: Japanese

INPADOC/Family and Legal Status

© 2002 European Patent Office. All rights reserved.

Dialog® File Number 345 Accession Number 4303305

SOLUBILIZER RESISTANT TO TEMPERATURE CHANGE AND SOLUBILIZATION

Publication Number: 58-128311 (JP 58128311 A), July 30, 1983

Inventors:

- SHINODA KOZO
- SHIGA TAKUO
- NAGAI MASAYOSHI

Applicants

- POLA CHEM IND INC (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

Application Number: 57-012265 (JP 8212265), January 28, 1982

International Class (IPC Edition 3):

- A61K-007/00
- C11D-001/83

JAPIO Class:

- 14.4 (ORGANIC CHEMISTRY--- Medicine)
- 14.6 (ORGANIC CHEMISTRY--- Liquid Fuel, Oils & Fats)

JAPIO Keywords:

- R019 (AEROSOLS)

Abstract:

PURPOSE: A solubilizer contains a combination of a specific ionic surfactant and a nonionic surfactant in a specific range, thus showing increased solubilization power and resistance to temperature change.

CONSTITUTION: An ionic surfactant selected from a metal salt of alkylpolyalkyleneoxidesulfate of formula I (R(sub 1) is 10-18C alkyl; X is alkylene oxide; m' is 1-6; M(sub 1) is cation), metal salts of dialkylsulfosuccinic acid of formula II (R(sub 2), R(sub 3) are 8-18C alkyl; M(sub 2) is monovalent cation) and .alpha.-branched fatty acid soap of formula III (m" is 1-10; n is 8-16; m"<=n, m"+n<=18; M(sub 3) is monovalent cation) and a nonionic surfactant, preferably with narrow distribution between alkyl groups and hydrophilic groups, are combined at a weight ratio of 15/85-95/5, preferably 70/30-30/70. The nonionic surfactant is added to the oil layer component, while the ionic one, to the aqueous layer, then they are mixed under agitation at room temperature to 85c in a preferable example. (From: *Patent Abstracts of Japan*, Section: C, Section No. 191, Vol. 07, No. 235, Pg. 138, October 19, 1983)

JAPIO

© 2002 Japan Patent Information Organization. All rights reserved.

Dialog® File Number 347 Accession Number 1190911

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-212265

(43) 公開日 平成8年(1996)8月20日

(51) Int.Cl.^o

識別記号

序内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 F 17/60

17/40

G 0 6 F 15/ 21 3 3 0

15/ 74 3 1 0 A

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願平7-273118

(22) 出願日 平成7年(1995)10月20日

(31) 優先権主張番号 特願平6-288704

(32) 優先日 平6(1994)10月31日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000001122

国際電気株式会社

東京都中野区東中野三丁目14番20号

(72) 発明者 小林 真也

東京都中野区東中野三丁目14番20号 国際

電気株式会社内

(72) 発明者 鶴崎 吉弘

東京都中野区東中野三丁目14番20号 国際

電気株式会社内

(72) 発明者 武地 永次

東京都中野区東中野三丁目14番20号 国際

電気株式会社内

(74) 代理人 弁理士 船津 暢宏 (外1名)

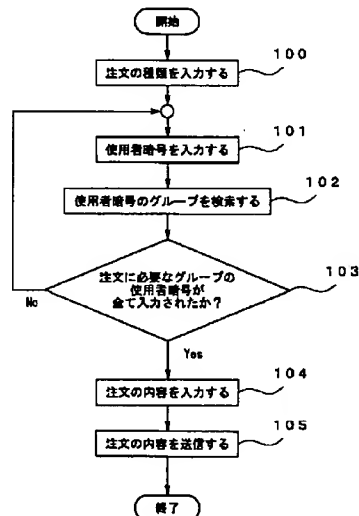
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 注文入力情報表示装置及びその制御方法

(57) 【要約】

【課題】 注文時の誤入力及び渉外員の不正行為を防止し、適正な注文のみを受け付け、必要な情報のみを表示させる注文入力情報表示装置及びその制御方法を提供する。

【解決手段】 注文の種類及び使用者暗号が入力部12から入力されると、制御部11は、記憶部13のグループ条件テーブル13aを参照して注文の種類に対応する必要グループを選択し、その必要グループのそれぞれについて暗号/グループテーブル13bを用いて使用者暗号が入力された時のみ正常な注文として注文を受け付け、また同様に正常な表示指示の時のみ表示情報の内容を表示する注文入力情報表示装置及びその制御方法である。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 使用者暗号及び注文の種類が入力される入力部と、使用者暗号を当該使用者が属するグループに対応付けて記憶し、注文の種類毎にグループを組み合わせて記憶する記憶部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された注文の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号が入力されて検索された場合に、前記入力された注文を受け付ける制御部とを有することを特徴とする注文入力情報表示装置。

【請求項2】 入力部から使用者暗号及び注文の種類が入力されると、制御部が、記憶部から注文の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号が入力されて検索されたかどうか判断し、前記全てのグループを使用者暗号が入力されて検索された場合に、前記入力された注文を受け付けることを特徴とする請求項1記載の注文入力情報表示装置の制御方法。

【請求項3】 使用者暗号及び表示情報の種類が入力される入力部と、使用者暗号を当該使用者が属するグループに対応付けて記憶し、表示情報の種類毎にグループを組み合わせて記憶する記憶部と、表示情報の内容を表示する表示部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された表示情報の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号が入力されて検索された場合に、前記入力された表示情報の内容を前記表示部に出力する制御部とを有することを特徴とする注文入力情報表示装置。

【請求項4】 入力部から使用者暗号及び表示情報の種類が入力されると、制御部が、記憶部から表示情報の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号が入力されて検索されたかどうか判断し、前記全てのグループを使用者暗号が入力されて検索された場合に、前記入力された表示情報の内容を表示部に出力することを特徴とする請求項3記載の注文入力情報表示装置の制御方法。

【請求項5】 使用者暗号、使用者氏名及び注文の種類が入力される入力部と、使用者氏名、使用者暗号、当該使用者が属するグループ、注文の種類毎の使用者暗号入力部の省略可否情報を対応付けて記憶し、注文の種類毎にグループを組み合わせて記憶する記憶部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された他の使用者氏名が入力された注文の種類について前記可否情報から使用者暗号入力を省略できる場合には前記他の使用者が属するグループを検索し、入力された注文の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者

2

暗号及び他の使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された注文を受け付ける制御部とを有することを特徴とする注文入力情報表示装置。

【請求項6】 使用者暗号、使用者氏名及び注文の種類が入力される入力部と、使用者氏名、使用者暗号、当該使用者が属するグループ、注文の種類毎の代理人暗号を対応付けて記憶し、注文の種類毎にグループを組み合わせて記憶する記憶部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された他の使用者氏名が入力された注文の種類について前記代理人暗号が既に入力された使用者暗号に等しい場合には前記他の使用者が属するグループを検索し、入力された注文の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び他の使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された注文を受け付ける制御部とを有することを特徴とする注文入力情報表示装置。

【請求項7】 入力部から使用者暗号、使用者氏名及び注文の種類が入力されると、制御部が、記憶部から注文の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び使用者氏名が入力されて検索されたかどうか判断し、前記全てのグループを使用者暗号及び使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された注文を受け付けることを特徴とする請求項5又は請求項6記載の注文入力情報表示装置の制御方法。

【請求項8】 使用者暗号、使用者氏名及び表示情報の種類が入力される入力部と、使用者氏名、使用者暗号、当該使用者が属するグループ、表示情報の種類毎の使用者暗号入力の省略の可否情報を対応付けて記憶し、表示情報の種類毎にグループを組み合わせて記憶する記憶部と、表示情報の内容を表示する表示部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された他の使用者氏名が入力された表示情報の種類について前記可否情報から使用者暗号入力を省略できる場合には前記他の使用者が属するグループを検索し、入力された表示情報の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び他の使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された表示情報の内容を前記表示部に出力する制御部とを有することを特徴とする注文入力情報表示装置。

【請求項9】 使用者暗号、使用者氏名及び表示情報の種類が入力される入力部と、使用者氏名、使用者暗号、当該使用者が属するグループ、表示情報の種類毎の代理人暗号を対応付けて記憶し、表示情報の種類毎にグループを組み合わせて記憶する記憶部と、表示情報の内容を表示する表示部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された他の使用者氏名が入力された表示情報の種類について前記代理人暗号が既に入力され

3

た使用者暗号に等しい場合には前記他の使用者が属するグループを検索し、入力された表示情報の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び他の使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された表示情報の内容を前記表示部に出力する制御部とを有することを特徴とする注文入力情報表示装置。

【請求項10】 入力部から使用者暗号、使用者氏名及び表示情報の種類が入力されると、制御部が、記憶部から表示情報の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び使用者氏名が入力されて検索されたかどうか判断し、前記全てのグループを使用者暗号及び使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された表示情報の内容を表示部に出力することとを特徴とする請求項8又は請求項9記載の注文入力情報表示装置の制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、渉外員が携帯する注文入力情報表示装置及びその制御方法に係り、特に、注文時の誤入力を防ぎ、また、渉外員による不正注文の受け付けを未然に防ぐことにより不正監視専任者を不要とし、更に、必要な情報を必要な人のみ表示することができる注文入力情報表示装置及びその制御方法に関する。

【0002】

【従来の技術】注文入力情報表示装置は、客先で注文や解約等の各種契約を行う銀行や証券会社等の営業担当者（渉外員）が携帯する装置であり、注文の入力を受け付けて会社へ注文データを送信し、また、顧客への説明等に必要情報を蓄積しておき、必要に応じて情報の表示を行うことができるものである。

【0003】通常、渉外員は、契約書と注文入力情報表示装置とを持ち歩いており、客先で、注文入力情報表示装置に必要な情報を表示させて顧客に説明を行い、また、契約が取れた場合には、顧客に契約書を記入してもらいながら、注文入力情報表示装置に必要なデータを入力しておき、帰社後に事務処理を行うようにしている。

【0004】ここで、従来の注文入力情報表示装置について簡単に説明する。従来の注文入力情報表示装置は、当該装置を使用することができる使用者暗号が登録設定されており、使用者暗号を入力することにより、注文や情報表示の処理を行うようになっていた。通常は、各注文入力情報表示装置を携帯する渉外員の使用者暗号が登録されており、他の人は勝手に使用することができないようになっている。

【0005】そして、渉外員が注文入力表示装置に自分の使用者暗号と注文内容を入力すると、注文入力情報表示装置は、使用者暗号を読み取り、暗号がOKかどうか

4

を判断し、OKの場合には、入力された注文内容のデータを電話回線等を介して証券会社等へ送信するようになっていた。

【0006】また、渉外員が使用者暗号を入力して、表示させたい情報を指定した場合には、注文入力情報表示装置は、入力された暗号がOKであれば、記憶部に記憶されている情報を読み出して表示部に表示させるようになっていた。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の注文入力情報表示装置では、渉外員が契約内容を誤って入力した場合や、偽の注文契約等の不正なデータを入力した場合にも、使用者暗号が正しく入力されていれば、正規の契約として受け付けてしまうという問題点があった。

【0008】また、上記のような誤り及び不正を防ぐために、不正監視の専任者を常置して監視する必要がある、人件費が増大してしまうという問題点があった。

【0009】更に、上記従来の注文入力表示装置では、使用者暗号が登録されている渉外員は、真に必要な情報以外でも、注文入力情報表示装置に記憶されている情報を自由に表示させることができるので、情報が悪用される可能性があるという問題点があった。

【0010】また、使用者暗号が登録されている渉外員しか受け付けられないので、使用者暗号を忘れてしまった場合に、他の渉外員がその注文入力表示装置を用いて情報表示させて商品説明を行う、といったことができず、不便であるという問題点があった。

【0011】本発明は上記実情に鑑みて為されたもので、注文時の誤入力を防ぎ、また、渉外員による不正注文の受け付けを未然に防ぐことにより不正監視専任者を不要とし、更に、必要な情報を必要な人のみ表示することができる注文入力情報表示装置及びその制御方法を提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】上記従来例の問題点を解決するための請求項1記載の発明は、注文入力情報表示装置において、使用者暗号及び注文の種類が入力される入力部と、使用者暗号を当該使用者が属するグループに対応付けて記憶し、注文の種類毎にグループを組み合わせさせて記憶する記憶部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された注文の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号が入力されて検索された場合に、前記入力された注文を受け付ける制御部とを有することとを特徴としており、営業担当者の不正行為を防止でき、従って不正監視専任者を不要とすることができる。

【0013】上記従来例の問題点を解決するための請求項2記載の発明は、請求項1記載の注文入力情報表示装

5

置の制御方法において、入力部から使用者暗号及び注文の種類が入力されると、制御部が、記憶部から注文の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号が入力されて検索されたかどうか判断し、前記全てのグループを使用者暗号が入力されて検索された場合に、前記入力された注文を受け付けることを特徴としており、営業担当者の不正行為を防止でき、従って不正監視専任者を不要とすることができる。

【0014】上記従来例の問題点を解決するための請求項3記載の発明は、注文入力情報表示装置において、使用者暗号及び表示情報の種類が入力される入力部と、使用者暗号を当該使用者が属するグループに対応付けて記憶し、表示情報の種類毎にグループを組み合わせて記憶する記憶部と、表示情報の内容を表示する表示部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された表示情報の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号が入力されて検索された場合に、前記入力された表示情報の内容を前記表示部に出力する制御部とを有することを特徴としており、不必要な情報を表示させることがなく、従って装置内の情報を悪用されるおそれがない。

【0015】上記従来例の問題点を解決するための請求項4記載の発明は、請求項3記載の注文入力情報表示装置の制御方法において、入力部から使用者暗号及び表示情報の種類が入力されると、制御部が、記憶部から表示情報の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号が入力されて検索されたかどうか判断し、前記全てのグループを使用者暗号が入力されて検索された場合に、前記入力された表示情報の内容を表示部に出力することを特徴としており、不必要な情報を表示させることがなく、従って装置内の情報を悪用されるおそれがない。

【0016】上記従来例の問題点を解決するための請求項5記載の発明は、注文入力情報表示装置において、使用者暗号、使用者氏名及び注文の種類が入力される入力部と、使用者氏名、使用者暗号、当該使用者が属するグループ、注文の種類毎の使用者暗号入力省略の可否情報に対応付けて記憶し、注文の種類毎にグループを組み合わせて記憶する記憶部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された他の使用者氏名が入力された注文の種類について前記可否情報から使用者暗号入力を省略できる場合には前記他の使用者が属するグループを検索し、入力された注文の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び他の使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された注文を受け付ける制御部とを有することを特徴として

6

おり、営業担当者の不正行為を防止でき、従って不正監視専任者を不要とすることができ、更に特定使用者における特定注文の種類で使用者暗号入力省略可とすることで、状況に応じて柔軟に注文を受け付けることができる。

【0017】上記従来例の問題点を解決するための請求項6記載の発明は、注文入力情報表示装置において、使用者暗号、使用者氏名及び注文の種類が入力される入力部と、使用者氏名、使用者暗号、当該使用者が属するグループ、注文の種類毎の代理人暗号に対応付けて記憶し、注文の種類毎にグループを組み合わせて記憶する記憶部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された他の使用者氏名が入力された注文の種類について前記代理人暗号が既に入力された使用者暗号に等しい場合には前記他の使用者が属するグループを検索し、入力された注文の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び他の使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された注文を受け付ける制御部とを有することを特徴としており、営業担当者の不正行為を防止でき、従って不正監視専任者を不要とすることができ、更に特定使用者における特定注文の種類で入力された使用者を代理人とすることで、状況に応じて柔軟に注文を受け付けることができる。

【0018】上記従来例の問題点を解決するための請求項7記載の発明は、請求項5又は請求項6記載の注文入力情報表示装置の制御方法において、入力部から使用者暗号、使用者氏名及び注文の種類が入力されると、制御部が、記憶部から注文の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び使用者氏名が入力されて検索されたかどうか判断し、前記全てのグループを使用者暗号及び使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された注文を受け付けることを特徴としており、営業担当者の不正行為を防止でき、従って不正監視専任者を不要とすることができ、更に特定使用者における特定注文の種類で使用者暗号入力省略可とすることで、また特定使用者における特定注文の種類で入力された使用者を代理人とすることで、状況に応じて柔軟に注文を受け付けることができる。

【0019】上記従来例の問題点を解決するための請求項8記載の発明は、注文入力情報表示装置において、使用者暗号、使用者氏名及び表示情報の種類が入力される入力部と、使用者氏名、使用者暗号、当該使用者が属するグループ、表示情報の種類毎の使用者暗号入力省略の可否情報に対応付けて記憶し、表示情報の種類毎にグループを組み合わせて記憶する記憶部と、表示情報の内容を表示する表示部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された他の使用者氏名が入力された表示情報の種類について前記可否情報から使用者暗

7

号入力を省略できる場合には前記他の使用者が属するグループを検索し、入力された表示情報の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び他の使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された表示情報の内容を前記表示部に出力する制御部とを有することを特徴としており、不必要な情報を表示させることがなく、従って装置内の情報を悪用されるおそれなく、更に特定使用者における特定表示情報の種類で使用者暗号入力省略可とすることで、状況に応じて柔軟に表示情報の内容を表示させることができる。

【0020】上記従来例の問題点を解決するための請求項9記載の発明は、注文入力情報表示装置において、使用者暗号、使用者氏名及び表示情報の種類が入力される入力部と、使用者氏名、使用者暗号、当該使用者が属するグループ、表示情報の種類毎の代理人暗号を対応付けて記憶し、表示情報の種類毎にグループを組み合わせで記憶する記憶部と、表示情報の内容を表示する表示部と、入力された使用者暗号が属するグループを検索し、入力された他の使用者氏名が入力された表示情報の種類について前記代理人暗号が既に入力された使用者暗号に等しい場合には前記他の使用者が属するグループを検索し、入力された表示情報の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び他の使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された表示情報の内容を前記表示部に出力する制御部とを有することを特徴としており、不必要な情報を表示させることがなく、従って装置内の情報を悪用されるおそれなく、更に特定使用者における特定表示情報の種類で入力された使用者を代理人とすることで、状況に応じて柔軟に表示情報の内容を表示させることができる。

【0021】上記従来例の問題点を解決するための請求項10記載の発明は、請求項8又は請求項9記載の注文入力情報表示装置の制御方法において、入力部から使用者暗号、使用者氏名及び表示情報の種類が入力されると、制御部が、記憶部から表示情報の種類に対応するグループの組み合わせを選択し、前記選択されたグループの組み合わせの全てのグループを使用者暗号及び使用者氏名が入力されて検索されたかどうか判断し、前記全てのグループを使用者暗号及び使用者氏名が入力されて検索された場合に、前記入力された表示情報の内容を表示部に出力することを特徴としており、不必要な情報を表示させることがなく、従って装置内の情報を悪用されるおそれなく、更に特定使用者における特定表示情報の種類で使用者暗号入力省略可とすることで、また特定使用者における特定表示情報の種類で入力された使用者を代理人とすることで、状況に応じて柔軟に表示情報の内容を表示させることができる。

【0022】

8

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する。図1は、本発明の実施の形態（第1の実施の形態）に係る注文入力情報表示装置の構成ブロック図である。本発明の第1の実施の形態に係る注文入力情報表示装置は、1又は複数入力された使用者暗号が属する1又は複数のグループと注文の種類又は表示情報の種類に対応するグループの組み合わせの全てのグループ（必要グループ）が一一致した時のみ、注文を有効に受け付け、または、表示情報の内容を表示するものであり、使用者の不正・悪用を防止できるものである。

【0023】第1の実施の形態の注文入力情報表示装置は、図1に示すように、全体の制御を行う制御部11と、各種必要事項を入力する入力部12と、処理に必要なプログラム、テーブル及びその他情報を記憶する記憶部13と、注文内容を会社の大型コンピュータ等に送信する送信部14と、銀行・証券情報を表示する表示部15とから構成されている。

【0024】次に、第1の実施の形態の注文入力情報表示装置の各部について具体的に説明する。制御部11は、各部に対する入出力制御を行い、記憶部13に格納されたプログラムを読み込んで記憶部13内の各テーブルを用いて注文処理又は表示処理を実行するものである。この注文処理と表示処理については後述する。

【0025】入力部12は、注文の種類又は表示情報の種類（両者を単に「種類」と呼ぶ）と、営業担当者、顧客、連帯保証人等の使用者の使用者暗号と、注文の内容と、注文内容を送信する指示とが入力される入力部である。入力部12として用いられる装置は、キーボード等の入力装置又はメモリカード等の記憶装置によって入力を行うことができる。つまり、使用者暗号をメモリカードで読み取らせて入力させることもできる。

【0026】記憶部13は、注文処理及び表示処理を実現するプログラムを格納し、更に、グループ条件テーブル13aと暗号/グループテーブル13bを保有するものである。また、記憶部13は、各種注文内容のフォーマット及び表示情報の内容をも記憶している。

【0027】ここで、記憶部13内のグループ条件テーブル13aについて図2を使って説明する。図2は、グループ条件テーブルの説明図である。グループ条件テーブル13aは、注文処理を行うためのテーブルと表示処理を行うためのテーブルとの2種類から構成されているが、両テーブルの構成は共通であるので、図2に示す1つのテーブルで説明することにする。

【0028】グループ条件テーブル13aは、図2に示すように、「種類」の項目と「必要グループ」の項目とが対応付けられているテーブルとなっている。「種類」とは、注文の種類又は表示情報の種類を示すものであり、「必要グループ」とは、その種類に対応した使用者のグループの組み合わせを示すもので、具体的には、使用者のグループとして「営業担当者グループ」「顧客グ

9

グループ「連帯保証人グループ」等が考えられる。図2の例では、種類Xに使用者のグループA、B、Cが対応し、種類Y使用者のグループA、Bが対応している。

【0029】つまり、グループ条件テーブル13aは、注文の種類毎に又は表示情報の種類毎に入力が必要なグループ（必要グループ）を組み合わせて規定したものであり、種類毎の必要グループにおける各グループの使用者の暗号がそれぞれ入力された時のみ注文を正常に受け付け又は表示を行うようにしている。

【0030】次に、記憶部13内の暗号／グループテーブル13bについて図3を使って説明する。図3は、暗号／グループテーブルの説明図である。暗号／グループテーブル13bは、注文処理を行うためのテーブルと表示処理を行うためのテーブルとの2種類から構成されているが、両テーブルの構成は共通であるので、図3に示す1つのテーブルで説明することにする。

【0031】暗号／グループテーブル13bは、図3に示すように、「使用者暗号」の項目と「グループ」の項目とが対応付けられているテーブルとなっている。つまり、「使用者暗号」に基づいて使用者が所属するグループを規定するものである。図3の例では、使用者暗号aはグループAに属し、使用者暗号bはグループBに属し、使用者暗号cはグループCに属している。また、使用者暗号iがグループAに属することもある。

【0032】つまり、暗号／グループテーブル13bは、入力部12から使用者暗号が入力されると、その使用者暗号に対応するグループを特定（使用者が属するグループを特定）するものであり、1つ又は複数入力された使用者暗号から特定された1つ又は複数のグループが、グループ条件テーブル13aにおいて入力された種類に対応するグループと一致するかどうか判断し、一致する場合にのみ注文を正常に受け付け又は情報表示を行うようにしている。

【0033】送信部14は、モデム等から構成され、入力部12からの指示により、適正に入力された注文の内容を電話回線を介して会社の大型コンピュータに送信するものである。表示部15は、適正に指定された表示情報を表示する表示部である。

【0034】次に、第1の実施の形態の注文入力情報表示装置の動作を簡単に説明する。まず、第1の実施の形態の注文入力情報表示装置の入力部12から注文の種類（表示情報の種類）が入力され、続いて入力部12から使用者暗号が入力されると、制御部11は、記憶部13の暗号／グループテーブル13bを参照して入力された使用者暗号が属するグループを検索し、次にグループ条件テーブル13aを参照して入力された注文の種類（表示情報の種類）に対応する必要グループを検索し、両グループが一致した場合にのみ入力された注文を正常に受け付け、または、表示情報の入力が正常であるとして表示情報の内容を表示部15に表示するものである。

10

【0035】注文が正常に受け付けられると、制御部11は、記憶部13から注文内容のフォーマットを読み出して表示部15に表示させ、使用者がその画面を見ながら、注文内容を入力部12から入力し、記憶部13にその内容を記憶させ、更に入力部12からの指示で注文内容を送信部14から送信することができるようにしている。

【0036】また、表示情報の内容の表示は、制御部11が、入力が正常である時に記憶部13からその表示情報に関する内容を読み出して表示部15に出力し、表示部15がその内容を表示するものである。

【0037】第1の実施の形態の注文入力情報表示装置における注文処理の制御方法について図4を使って説明する。図4は、第1の実施の形態の注文入力情報表示装置における注文処理の制御方法を示すフローチャート図である。第1の実施の形態の注文入力情報表示装置における注文処理は、まず入力部12から注文の種類を入力し（100）、次に使用者暗号を入力し（101）、記憶部13内の注文処理に関する暗号／グループテーブル13bを参照して入力された使用者暗号のグループを検索し（102）、注文に必要なグループの使用者暗号が全て入力されたかを判断し（103）、必要なグループの使用者暗号が全て入力されていない場合は、処理101に戻って次の使用者暗号を入力する。

【0038】一方、処理103において、必要なグループの使用者暗号が全て入力された場合は、注文の内容を入力し（104）、注文の内容を送信し（105）、注文処理を終了する。尚、処理103において、注文に必要なグループの使用者暗号が全て入力されたかの判断は、記憶部13内の注文処理に関するグループ条件テーブル13aを参照して判断する。

【0039】第1の実施の形態の注文入力情報表示装置における表示処理の制御方法について図5を使って説明する。図5は、第1の実施の形態の注文入力情報表示装置における表示処理の制御方法を示すフローチャート図である。第1の実施の形態の注文入力情報表示装置における表示処理は、まず入力部12から表示する情報（表示情報の種類）を指定し（200）、次に使用者暗号を入力し（201）、記憶部13内の表示処理に関する暗号／グループテーブル13bを参照して入力された使用者暗号のグループを検索し（202）、情報の表示に必要なグループの使用者暗号が全て入力されたかを判断し（203）、必要なグループの使用者暗号が全て入力されていない場合は、処理201に戻って次の使用者暗号を入力する。

【0040】一方、処理203において、必要なグループの使用者暗号が全て入力された場合は、指定された情報を表示して（204）、表示処理を終了する。尚、処理203において、情報の表示に必要なグループの使用者暗号が全て入力されたかの判断は、記憶部13内の表

示処理に関するグループ条件テーブル13aを参照して判断する。

【0041】第1の実施の形態の注文入力情報表示装置及びその注文処理の制御方法によれば、注文の種類に対応した必要グループと入力された使用者暗号が属するグループとが一致した時にのみ注文を正常に受け付けるようにしているため、使用者が誤った注文の種類を選択しても正常に受け付けられないため、注文内容の誤入力を防止でき、また営業担当者が不正に注文を出そうとしても顧客（及び連帯保証人）のグループに属する顧客（及び連帯保証人）から使用者暗号が入力されなければ注文を正常に受け付けられないため、営業担当者の不正行為を防止でき、従って不正監視専任者を不要とすることができる効果がある。

【0042】第1の実施の形態の注文入力情報表示装置及びその表示処理の制御方法によれば、表示情報の種類に対応した必要グループと入力された使用者暗号が属するグループとが一致した時にのみその情報の内容を表示するようにしているため、不必要な情報を表示させることがなく、従って装置内の情報を悪用されるおそれなく、信頼性を向上させることができる効果がある。

【0043】また、第1の実施の形態の注文入力情報表示装置によれば、複数の営業担当者のそれぞれの使用者暗号を営業担当者グループに属するように記憶部13内の暗号／グループテーブルで管理するようにすれば、第1の実施例の注文入力情報表示装置をそのグループに属する営業担当が持ち歩くことができ、融通性を有するという効果がある。

【0044】次に、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置について説明する。第2の実施の形態の注文入力情報表示装置は、使用者毎に注文の種類又は表示情報の種類に対応して、使用者暗号の省略又は代理人を設定可能とし、必要グループの全ての使用者暗号が入力できない場合でも、使用者暗号入力を省略したり、または使用者が代理人と認められれば、注文を有効に受け付け、または表示情報の内容を表示するものであり、使用者の不正・悪用を防止でき、且つ状況に応じた融通性を兼ね備え、従来のシステムからスムーズに移行することができるものである。

【0045】第2の実施の形態の注文入力情報表示装置は、図1に示した第1の実施の形態の注文入力情報表示装置と基本的には同様の構成であり、記憶部13におけるテーブルの構成と、制御部11における制御方法とが異なっている。第1の実施の形態の注文入力情報表示装置と同様である入力部12と、送信部14と、表示部15についてはここでは説明を省略し、異なる部分について説明する。

【0046】第2の実施の形態の制御部11は、第1の実施例の制御部11とほぼ同様に、各部に対する入出力制御を行い、記憶部13に格納されたプログラムを読み

込んで記憶部13内の各テーブルを用いて注文処理又は表示処理を実行し、更に各使用者毎に使用者暗号と省略又は代理人を設定する設定処理を行うものであり、但し、注文処理と表示処理の内容も第1の実施例とは異なっている。第2の実施の形態の制御部11の設定処理と注文処理と表示処理の内容については後述する。

【0047】第2の実施の形態の記憶部13は、設定処理、注文処理及び表示処理を実現するプログラムを格納し、更に、グループ条件テーブル13aと暗号／グループテーブル13b'を保有するものである。また、記憶部13は、各種注文内容のフォーマット及び表示情報の内容をも記憶している。そして、記憶部13内のグループ条件テーブル13aは、図2に示した第1の実施例のグループ条件テーブル13aと全く同様であるため、ここでは説明を省略する。

【0048】次に、第2の実施の形態の記憶部13内の暗号／グループテーブル13b'について図6を使って説明する。図6は、暗号／グループテーブルの説明図である。暗号／グループテーブル13b'は、注文処理を行うためのテーブルと表示処理を行うためのテーブルとの2種類から構成されているが、両テーブルの構成は共通であるため、図6に示す1つのテーブルで説明することにする。

【0049】第2の実施の形態の暗号／グループテーブル13b'は、図6に示すように、「使用者氏名」に対して、「使用者暗号」と「グループ」と「代理人又は省略」の項目とが対応付けられているテーブルとなっている。ここで、「代理人又は省略」の項目は、注文の種類又は表示情報の種類（両者を単に「種類」と呼ぶ）毎に、省略可能を示す「省略」が設定されるか、又は代理人可能を示す代理人の使用者暗号が設定されるか、或いは省略も代理人も不可能という場合は何も設定されないようになっている。

【0050】図6の例では、使用者氏名Aは使用者暗号がa1で、グループAに属し、種類1では代理人（代理人使用者暗号b1）を認め、種類2では使用者暗号の省略を可能とし、種類3では省略も代理人も不可能として設定されている。また、使用者氏名Bは使用者暗号がa2で、グループAに属し、種類1では使用者暗号の省略を可能とし、種類2では省略も代理人も不可能とし、種類3では代理人（代理人使用者暗号b2）を認めるように設定されている。また、使用者氏名Cは使用者暗号がb1で、グループBに属し、種類1、種類2で代理人（代理人使用者暗号c1）を認めるように設定されている。

【0051】つまり、暗号／グループテーブル13b'は、入力部12からまず種類が入力され、更に使用者暗号が入力されると、その使用者暗号に対応するグループを特定（使用者が属するグループを特定）する。そして、更に入力部12から使用者暗号が入力できないよう

13

な場合に、使用者氏名が入力されると、使用者氏名と種類に対応する「代理人又は省略」項目が設定されている。その設定に従って省略とするか又は代理人の使用者暗号入力でその使用者氏名に対応するグループを特定する。以上のような処理で特定された1つ又は複数のグループが、グループ条件テーブル13aにおいて入力された種類に対応するグループと一致するかどうかを判断し、一致する場合にのみ注文を正常に受け付け又は情報表示を行うようにしている。

【0052】尚、「使用者氏名」に対する「使用者暗号」、「グループ」、「代理人又は省略」の各項目の設定及び変更は、制御部11の設定処理の動作に従って、原則的には使用者本人によって行われるものである。特に代理人の設定については、使用者によって使用者暗号が入力され、適正な使用者によって代理人氏名が入力されると、制御部11が暗号/グループテーブル13b'の「使用者氏名」を検索し、対応する「使用者暗号」を代理人の使用者暗号として「代理人又は省略」の項目に設定するようになっている。また、制御部11の設定処理において、「使用者暗号」が変更された場合は、変更前の使用者暗号を全使用者の中で検索し、新しい使用者暗号に変更するようになっている。

【0053】次に、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置の動作を簡単に説明する。まず、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置の入力部12から注文の種類（表示情報の種類）が入力され、続いて入力部12から使用者暗号が入力されると、制御部11は、記憶部13の暗号/グループテーブル13b'を参照して入力された使用者暗号が属するグループを検索し、次にグループ条件テーブル13aを参照して入力された注文の種類（表示情報の種類）に対応する必要グループを検索し、そのグループをOKとし、入力された使用者暗号を一時記憶する。

【0054】また、入力部12から使用者氏名が入力されると、制御部11は、記憶部13の暗号/グループテーブル13b'を参照し、注文の種類（表示情報の種類）に対応する「代理人又は省略」の項目が設定されているかを検索し、「省略」が設定されているとその使用者氏名が属するグループをOKとする。一方、「代理人又は省略」の項目に代理人の使用者暗号が設定されている場合は、その代理人の使用者暗号がすでに入力されて一時記憶されている使用者暗号に一致するかをチェックし、一致する場合は、入力された使用者氏名が属するグループをOKとする。

【0055】そして、制御部11は、上記の動作の後に再度、グループ条件テーブル13aを参照して、入力された注文の種類（表示情報の種類）に対応する必要グループを検索し、設定されている全ての必要グループがOKとなった場合にのみ入力された注文を正常に受け付け、または、表示情報の入力が正常であるとして表示情

14

報の内容を表示部15に表示するものである。尚、その後の動作は第1の実施の形態と全く同様であるので、説明を省略する。

【0056】次に、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置における注文処理の制御方法について図7、図8を使って説明する。図7は、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置における注文処理の制御方法を示すフローチャート図であり、図8は、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置における省略・代理人処理の制御方法を示すフローチャート図である。

【0057】第2の実施の形態の注文入力情報表示装置における注文処理は、まず入力部12から注文の種類を入力し（300）、次に使用者暗号又は使用者氏名を入力し（302）、入力したものが使用者暗号であるかを判断する（304）。

【0058】そして、入力したものが使用者暗号である場合は、記憶部13内の注文処理に関する暗号/グループテーブル13b'を参照して、入力された使用者暗号のグループを検索し、そのグループをOKとし（310）、入力された使用者暗号を一時記憶する（312）。

【0059】そして、注文に必要なグループが全てOKになったかを判断し（320）、必要なグループが全てOKではない場合は、処理302に戻って次の使用者暗号又は使用者氏名を入力し、一方、処理320において、必要なグループが全てOKになった場合は、注文の内容を入力し（322）、注文の内容を送信し（324）、注文処理を終了する。尚、処理320において、注文に必要なグループが全てOKになったかの判断は、記憶部13内の注文処理に関するグループ条件テーブル13aを参照し、全てのグループがOKと設定されているかどうかで判断するものである。

【0060】また、処理304において、入力したものが使用者暗号でない（つまり、使用者氏名である）場合は、省略・代理人処理を行い（330）、処理320に飛ぶ。

【0061】処理330の省略・代理人処理の内容は、図8に示すように、記憶部13内の注文処理に関する暗号/グループテーブル13b'を参照して、入力された使用者氏名の注文の種類に対応する「代理人又は省略」の項目に「省略」が設定されているかを判断し（400）、「省略」が設定されていない場合は、代理人の使用者暗号が設定されているかを判断する（402）。また、処理400において、「省略」が設定されている場合は、処理406に飛ぶ。

【0062】そして、代理人の使用者暗号が設定されている場合は、その使用者暗号が既に入力されたかを判断し（404）、既に入力された場合は、使用者氏名が属するグループをOKにして（406）、省略・代理人処理処理を終了する。

【0063】一方、処理402において、代理人の使用者暗号が設定されていない、つまり「代理人又は省略」の項目に何も設定されていない場合、及び、処理404において設定されている代理人の使用者暗号が未だ入力されていない場合は、そのまま省略・代理人処理処理を終了する。

【0064】次に、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置における表示処理の制御方法について図9を使って説明する。図9は、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置における表示処理の制御方法を示すフローチャート図である。第2の実施の形態の注文入力情報表示装置における表示処理は、まず入力部12から表示する情報（表示情報の種類）を指定し（500）、以降処理502～処理512、及び処理530は図7に示した注文処理の処理302～処理312、及び処理330とはほぼ同様であり、処理520において表示に必要なグループが全てOKになった場合は、指定された情報を表示して（522）、表示処理を終了する。

【0065】尚、処理510において参照するのは記憶部13内の表示処理に関する暗号/グループテーブル13b'であり、また処理520において、表示に必要なグループが全てOKになったかの判断は、記憶部13内の表示処理に関するグループ条件テーブル13aを参照して判断する点が注文処理のフローチャートと異なっている。

【0066】第2の実施の形態の注文入力情報表示装置及びその注文処理の制御方法によれば、注文の種類に対応した必要グループと、入力された使用者暗号が属するグループ及び入力された他の使用者氏名における注文の種類で使用者暗号入力の「省略」が設定されている場合にはその他の使用者が属するグループとが一致した時にのみ注文を正常に受け付けるようにしているので、使用者が誤った注文の種類を選択しても正常に受け付けられないため、注文内容の誤入力を防止でき、また営業担当者が不正に注文を出そうとしても顧客（及び連帯保証人）のグループに属する顧客（及び連帯保証人）から使用者暗号が入力されなければ注文を正常に受け付けられないため、営業担当者の不正行為を防止でき、従って不正監視専任者を不要とすることができる効果があり、また、注文の種類に応じて使用者暗号の入力を省略できるようにすることで、注文入力情報表示装置での使用に柔軟性を持たせることができる効果がある。

【0067】また、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置及びその注文処理の制御方法によれば、注文の種類に対応した必要グループと、入力された使用者暗号が属するグループ及び入力された他の使用者氏名における注文の種類で代理人暗号が設定されている場合にはその代理人暗号と既に入力された使用者暗号が等しい時のその他の使用者が属するグループとが一致した時にのみ注文を正常に受け付けるようにしているので、注文内容の

誤入力を防止でき、使用者の不正行為を防止できる効果があり、また、注文の種類に応じて代理人の使用者暗号を設定して代理できるようにすることで、注文入力情報表示装置での使用に柔軟性を持たせることができる効果がある。

【0068】第2の実施の形態の注文入力情報表示装置及びその表示処理の制御方法によれば、表示情報の種類に対応した必要グループと、入力された使用者暗号が属するグループ及び入力された他の使用者氏名における注文の種類で使用者暗号入力の「省略」が設定されている場合にはその他の使用者が属するグループとが一致した時にのみその情報の内容を表示するようにしているので、不必要な情報を表示させることがなく、従って装置内の情報を悪用されるおそれなく、信頼性を向上させることができる効果があり、また、情報表示の種類に応じて使用者暗号の入力を省略できるようにすることで、注文入力情報表示装置での使用に柔軟性を持たせることができる効果がある。

【0069】また、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置及びその表示処理の制御方法によれば、表示情報の種類に対応した必要グループと、入力された使用者暗号が属するグループ及び入力された他の使用者氏名における情報表示の種類で代理人暗号が設定されている場合にはその代理人暗号と既に入力された使用者暗号が等しい時のその他の使用者が属するグループとが一致した時にのみその情報の内容を表示するようにしているので、装置内の情報を悪用されるおそれなく、信頼性を向上させることができる効果があり、また、情報表示の種類に応じて代理人の使用者暗号を設定して代理できるようにすることで、注文入力情報表示装置での使用に柔軟性を持たせることができる効果がある。

【0070】また、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置においても、複数の営業担当者のそれぞれの使用者暗号を営業担当者グループに属するように記憶部13内の暗号/グループテーブルで管理するようにすれば、第2の実施の形態の注文入力情報表示装置をそのグループに属する営業担当が持ち歩くことができ、融通性を有するという効果がある。

【0071】

【発明の効果】請求項1、2記載の発明によれば、注文の種類に対応したグループの組み合わせの全てのグループと入力された使用者暗号が属するグループとが一致した時にのみ注文を正常に受け付ける注文入力情報表示装置及びその制御方法としているので、営業担当者の不正行為を防止でき、従って不正監視専任者を不要とすることができる効果がある。

【0072】請求項3、4記載の発明によれば、表示情報の種類に対応したグループの組み合わせ全てのグループと入力された使用者暗号が属するグループとが一致した時にのみ表示情報の内容を表示する注文入力情報表示

17

装置及びその制御方法としているので、不必要な情報を表示させることがなく、従って装置内の情報を悪用されるおそれがなく、信頼性を向上させることができる効果がある。

【0073】請求項5、7記載の発明によれば、注文の種類に対応したグループの組み合わせの全てのグループが選択され、入力された使用者暗号が属するグループ及び入力された他の使用者氏名における注文の種類での使用者暗号入力省略可である場合にその他の使用者氏名が属するグループと選択された全てのグループとが一致した時に注文を正常に受け付ける注文入力情報表示装置及びその制御方法としているので、営業担当者の不正行為を防止でき、従って不正監視専任者を不要とすることができ、更に特定使用者における特定注文の種類で使用者暗号入力省略可とすることで、状況に応じて柔軟に注文を受け付けることができる効果がある。

【0074】請求項6、7記載の発明によれば、注文の種類に対応したグループの組み合わせの全てのグループが選択され、入力された使用者暗号が属するグループ及び入力された他の使用者氏名における注文の種類での代理人暗号と既に入力された使用者暗号とが等しい場合であってその他の使用者氏名が属するグループと選択された全てのグループとが一致した時に注文を正常に受け付ける注文入力情報表示装置及びその制御方法としているので、営業担当者の不正行為を防止でき、従って不正監視専任者を不要とすることができ、更に特定使用者における特定注文の種類で入力された使用者を代理人とすることで、状況に応じて柔軟に注文を受け付けることができる効果がある。

【0075】請求項8、10記載の発明によれば、表示情報の種類に対応したグループの組み合わせ全てのグループが選択され、入力された使用者暗号が属するグループ及び入力された他の使用者氏名における注文の種類での使用者暗号入力省略可である場合にその他の使用者氏名が属するグループと選択された全てのグループとが一致した時に表示情報の内容を表示する注文入力情報表示装置及びその制御方法としているので、不必要な情報を表示させることがなく、従って装置内の情報を悪用されるおそれがなく、更に特定使用者における特定表示情報の種類で使用者暗号入力省略可とすることで、状況に応じて柔軟に表示情報の内容を表示させることができる効果がある。

18

【0076】請求項9、10記載の発明によれば、表示情報の種類に対応したグループの組み合わせ全てのグループが選択され、入力された使用者暗号が属するグループ及び入力された他の使用者氏名における表示情報の種類での代理人暗号と既に入力された使用者暗号が等しい場合であってその他の使用者氏名が属するグループと選択された全てのグループとが一致した時に表示情報の内容を表示する注文入力情報表示装置及びその制御方法としているので、不必要な情報を表示させることがなく、従って装置内の情報を悪用されるおそれなく、更に特定使用者における特定表示情報の種類で入力された使用者を代理人とすることで、状況に応じて柔軟に表示情報の内容を表示させることができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態に係る注文入力情報表示装置の構成ブロック図である。

【図2】第1の実施の形態のグループ条件テーブルの説明図である。

【図3】第1の実施の形態の暗号／グループテーブルの説明図である。

【図4】第1の実施の形態の注文入力情報表示装置における注文処理の制御方法を示すフローチャート図である。

【図5】第1の実施の形態の注文入力情報表示装置における表示処理の制御方法を示すフローチャート図である。

【図6】第2の実施の形態の暗号／グループテーブルの説明図である。

【図7】第2の実施の形態の注文入力情報表示装置における注文処理の制御方法を示すフローチャート図である。

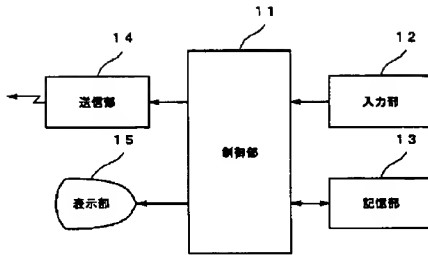
【図8】第2の実施の形態の注文入力情報表示装置における省略・代理人処理の制御方法を示すフローチャート図である。

【図9】第2の実施の形態の注文入力情報表示装置における表示処理の制御方法を示すフローチャート図である。

【符号の説明】

11…制御部、12…入力部、13…記憶部、13a…グループ条件テーブル、13b、13b'…暗号／グループテーブル、14…送信部、15…表示部

【図1】



注文入力情報表示装置

【図2】

グループ条件テーブル

種類	必要グループ
X	A, B, C
Y	A, B
⋮	⋮
⋮	⋮
⋮	⋮

13a

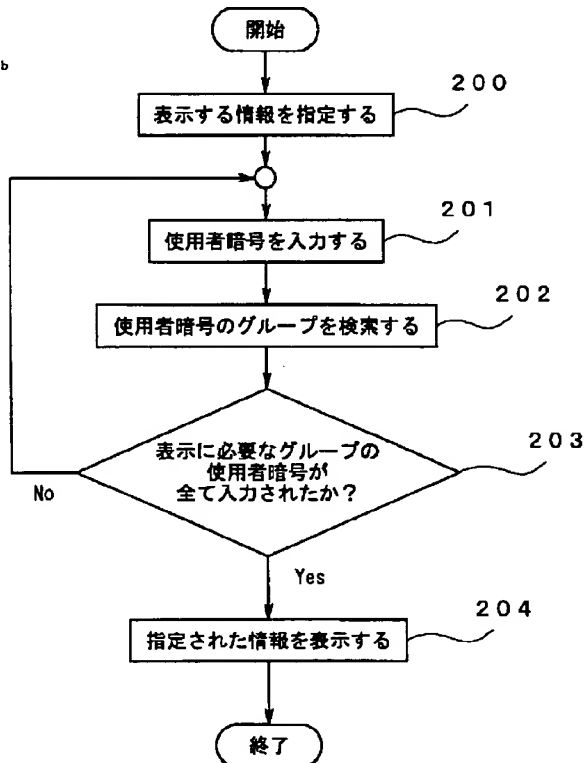
【図3】

暗号/グループテーブル

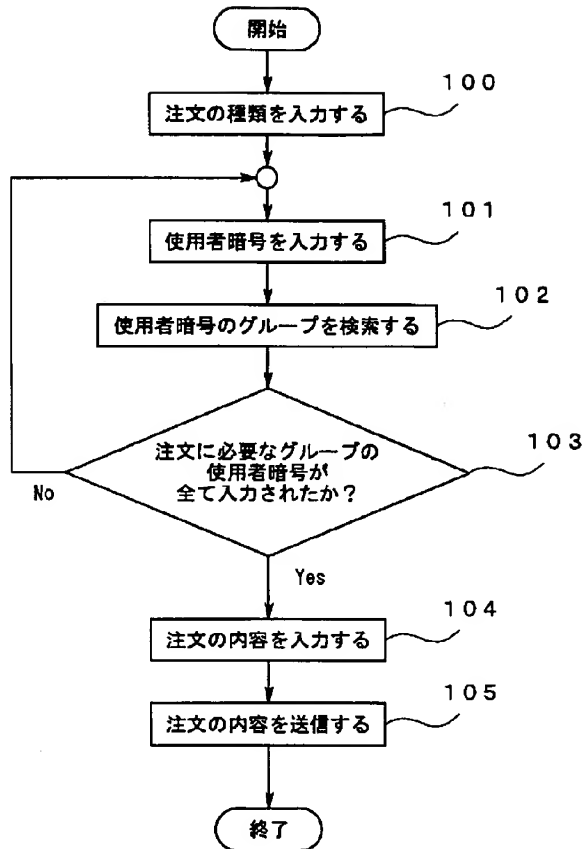
使用暗号	グループ
a	A
b	B
c	C
⋮	⋮
⋮	⋮

13b

【図5】



【図4】



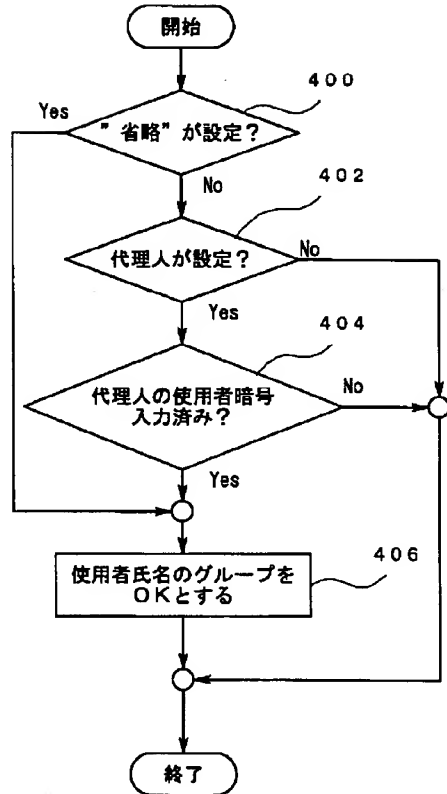
【図6】

暗号/グループテーブル

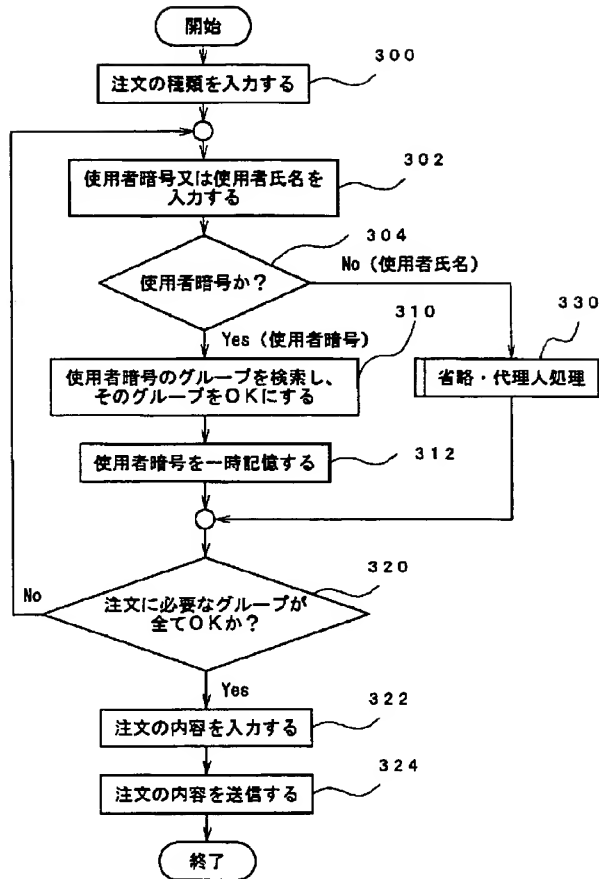
使用者氏名	使用者番号	グループ	代理人又は省略可			
			省略1	省略2	省略3	--
ア	a1	A	b1	省略		
イ	a2	A	省略	b2		
ウ	b1	B	c1	c1		
!	!	!	!	!		

13b

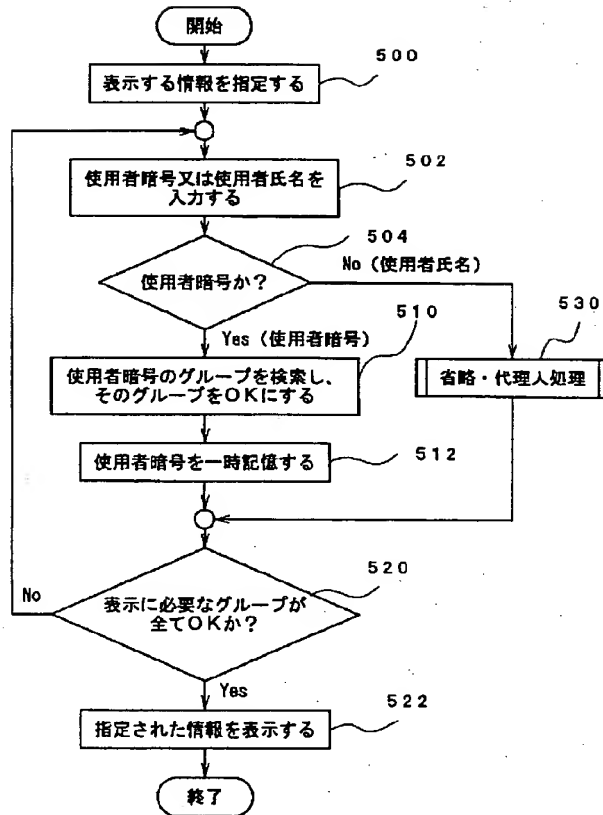
【図8】



【図7】



【図9】



フロントページの続き

(72)発明者 栗原 修
東京都中野区東中野三丁目14番20号 国際
電気株式会社内

BEST AVAILABLE COPY